

弘前大学医学部附属病院で診療を受けられる皆様へ

本院では、下記の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用されることを希望されない患者さんもしくは患者さんの代理人の方は、下記の連絡先までお申し出ください。

1. 研究課題名	直腸癌における双孔式ストーマ早期合併症の検討			
2. 対象患者	当科で予防的回腸ストーマ造設を伴う直腸癌手術を施行された患者さん			
3. 対象となる期間	2016年1月1日 ~ 2017年11月30日			
4. 実施診療科等	弘前大学消化器外科			
5. 研究責任者	氏名	三浦 卓也	所属	弘前大学消化器外科
6. 共同研究機関 (共同研究機関研究責任者)	なし			
7. 研究の意義	直腸切除術におけるdiverting ileostomyは、吻合部腸管の安静を保ち、縫合不全のリスクを回避するうえで有用です。しかし、ストーマに関連する合併症もしばしば経験され、ストーマからの排泄過多をきたすhigh output stoma(HOS)は脱水や電解質異常を引き起こしますが、その病態は明ら			
8. 研究の目的	HOSはVillafrancaらの報告(Nutr J 2015)に基づき、1500ml以上のストーマ排泄を連続して2日以上認めた症例としました。対象症例の診療録より、臨床背景や早期合併症などにつき後方視的に検討し、HOSに関連する因子を検討しました。			
9. 研究の方法 (使用・提供する資料等および外部に提供する場合の方法等)	診療録を利用し、手術理由などの病歴、年齢、性別、身長、体重などの臨床所見、直腸癌の臨床病理所見、術式、合併症などの手術関連情報、臓器温存の有無、再発などの術後情報を利用します。			
10. 個人情報の保護	患者個人が特定される情報を公開することはありません。研究結果は学会等で報告されます。			
11. 利益相反に関する状況	本課題の研究代表者が所属する講座では、(株)ヤクルト本社、中外製薬(株)、アステラス製薬(株)、大鵬薬品工業(株)から寄附金を受領しており、利益相反状態にあります。これらは本課題の資金源ではなく、研究は講座の研究グループによって公正に実施されます。本研究の利益相反状態については、弘前大学大学院医学研究科医学研究(臨床研究等)利益相反マネジメント委員会の審査を受けています。			
12. 連絡先	弘前大学大学院医学研究科消化器外科学講座 三浦 卓也			
	電話	0172-39-5079	FAX	0172-39-5080